

藤の花

原民喜

青空文庫

運動場の白い砂の上では四十人あまりの男女が体操をしてゐた。藤棚の下で見ると微風が睡気を運んで来るので、体操の時間は停まつたままでも動かない。機械体操から墜ちて手首を挫いた豊が、ネルの着物の上に袴を穿いて、手を※帯で首から吊つてゐた。そのすぐ側には女の子が二人、やはり体操を休んでゐた。一人の女の子は髪が日向の枯草のやうに乾いてゐて、顔が年寄のやうに落着いてゐた。もう一人の女の子は何となく朝顔の芽に似た顔をしてゐた。豊の頭の上には藤の花が垂れ下つてゐる。その藤の花を裂いて蜜を舐めることを、豊は佐藤から教はつてゐた。佐藤は熊の子のやうな恰好で今も体操の列にゐた。(さやえんどう、さくらんぼう、どうしてこのごろは、うつとりとろりとしたきりすずめ) 豊はちいちく、ちいちく啼く雀の声を眼をひらいたまま、夢のやうに聴いてゐた。すると、なにがどうかなしいのかわからないが、とにかくかなしい。

……はつと思ふと、すべてが彼の趾の裏から墜落して行くのであつた。女の子の一人は縦縞のじみな着物を着て、鼻に小皺を寄せたまま、もう一人の女の子は赤い襷を掛けて、煤けた腕を露出したまま、熊の子のやうに佐藤はもちやもちやに頬鬚を伸し、齒をタバコの脂だらけにして、その他四十人あまりの顔がみんなそれぞれ変つてゐるのに気も着

かず、まだ体操を続けてゐた。そして、どしどし運動場は墜落して行く。豊は耐りかねて、負傷してゐないほうの手で、藤の花にぶらさがった。

青空文庫情報

底本：「普及版 原民喜全集第一巻」芳賀書店

1966（昭和41）年2月15日初版発行

入力：蔣龍

校正：伊藤時也

2013年1月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

藤の花

原民喜

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>